

京都大学の契約しているライセンスについて

【ご意見・ご要望】(投稿日:2021年6月23日)

京都大学が契約しているライセンスについて意見があります。

京都大学では今のところ MATLAB のキャンパス包括ライセンスの契約を行っていないと認識しています。それはなぜでしょうか。工学部のある世界大学ランキング(QS)トップ 50 のうち MATLAB のキャンパス包括ライセンスを契約していないのは香港科技大と京都大学のみだ、との話もあります。ランキング自体に意味があるかはさておき、海外ではあって当然のソフトが京都大学にはない、というのは学校の価値を毀損するのではないのでしょうか。

また国内でも、他大学を見渡せば、Office や Adobe CC などの無料使用が可能な公立大学もあります。京都大学はどれも(通常版よりは安価であるとはいえ)有料ですよね。こういったライセンスは研究にも有用であるばかりでなく学生の活動を豊かにするものでもあるはずで

提供するライセンスの部分において京都大学は弱いと思います。是非とも改善を願いたいです。

【回答】(回答日:2021年7月8日)

(回答部署:情報部情報推進課)

貴重なご意見ありがとうございます。

ご指摘のように、大学として各種ソフトウェアの包括ライセンスを締結することで、研究での有用性、及び学生の活動を豊かにすること等については本学としても認識しております。

一方、包括ライセンスを締結する場合、大学として相応のソフトウェアのライセンス費用を負担する必要があります。文系、理系の双方を持つ総合大学として、全構成員にかかるライセンスはともかく、一部の構成員が使用しているライセンスについては、契約の是非について慎重な議論が必要になります。

そのため、安易に包括ライセンス契約を行うことができず、慎重に判断する必要があることをご理解くださるようお願いいたします。

なお、ご指摘の MATLAB については、理工系の教員・研究者・学生を中心に、学内で一定程度利用されていることから、過去にキャンパスワイドライセンス契約の検討が行われたことがあり、現在も引き続き検討を行っているところです。

大学といたしましても、教員や学生等によりよい教育・研究の場や環境を提供するべく検討を重ねておりますことをご理解いただきますようお願いいたします。